

科目名 Subject	着装技術 I Techniques of Kimono Dressing I		教員名	着装チーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	○	○	◎
科目の概要	日本の伝承美、着装の技術および着物の基本知識を学び、“日本の心を着る”という豊かな感性と人を思いやる心を育て、日本人としての文化教養を身につけます。 また「自分で着る、人に着せる」実習を通して美齢学に通ずる子供から高齢者へ向けた着つけの基本技術を習得し、接客の心得を学びながら美容総合実践として着つけ技術基礎を固めます。さらにこの科目は社会で活躍する自分の姿を常にイメージし、職業実践専門課程に基づくカリキュラムの実践を通し就職、社会事業に沿った学びができます。社会人としての素養を日本人としての資質を一回一回の授業で身につけることで、自分自身の成長を感じることができる科目となります。				
授業の目標	本科目の履修を通して、 ①生活の中に関わる着物文化と装いを理解し、四季に応じたコーディネイトや装いを表現できる。 ②山野流美道五大原則に基づいたトータルビューティの習得と美齢学の基礎を実践できる。 ③「自分で着る、人に着せる」の着つけの基本技術を習得し、実践できる。 ④社会人となる自分を常にイメージし、就職1年目から社会に貢献できる技術、マナー、日本文化の知識を習得し、実践できる。				
時間外学習 (予習・復習)	予習・復習共に技術者として接客を意識した生活学習を行う。予習：次回授業対象の範囲につきTVや雑誌ほかSNSなどでTP0やコーディネイトを確認する。復習：学びの経過をSNSに掲載したり各自タブレットに保存するなど技術向上を目で見て確認する。又TVや雑誌、SNSなどからテクニックの相違を確認すること。他、コンテストやイベントの教員指導による時間外予習復習も場合により有り得る。総合で30－40時間以上の予習を見込む				
教科書・教材	教科書	着つけ教本は初回に配布　ほか必要に応じてプリント配布			
	教材	授業に必要な教材を初回に配布			
	使用設備・備品	授業に必要な教材は国際美容協会からレンタル（保管は短大教室内）			
	参考文献	（一財）国際美容協会貯蔵			
評価方法	平常点20％、実技試験60％、筆記試験15％、評価シート5％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験後に、口頭にて試験の相対的評価を行い次の学習目標を伝え実践させる。				
履修上の注意	①個人持参物 /半紙、筆記用具、白ソックス、白タオル5本、ハサミ、名前ペン、脱脂綿50g（1枚の大きなもの）、女子は前後の衿が大きく開いたシャツ（キャミソール）、7分丈迄のレギンス、男子はVかU字型シャツ、短パン ②マナー/ 実習時は髪を一つに束ねる事、素足入室は厳禁				
本科目履修と関連する資格	資格名	美容着付師			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション トータルビューティと美齢学	山野が目指すトータルビューティ及び美齢学の概念を理解し述べることができる。	山野美容芸術短期大学の理念を覚えてくること
第2回	着付け前の準備	着付けの備品を覚え、着付け前の準備を理解し実践することができる。	着付けに必要な小物と各部名称について予習復習が必要
第3回	外出着の装い	着物の種類を学び、街着の着物について理解し実践することができる。	小紋のについて社会情報を得てくること
第4回	小紋① 着物	一人で着物を着ることを理解し実践することができる。	テキストを見て事前学習をする
第5回	小紋② 着物と名古屋帯	自分で小紋の着物を着ることを理解し実践することができる。	テキストを見て復習
第6回	一人で着る着物と帯結び 小テスト	一人で名古屋帯を結ぶ事を理解し実践することができる 着付け前の準備を理解し実践することができる。	準備方法の小テストのため30分程度の予習が必要
第7回	留袖① ヘアメイクと着付け	礼装にふさわしい、ヘアスタイル着付けのバランス感覚を理解し述べることができる。	留袖のTP0について予習
第8回	留袖のヘアメイクと着付けのデモンストレーション	留袖着付けのトータルバランスとイメージを理解し述べるができる。	社会情報から礼装のヘアメイクを予習してくる
第9回	留袖② 長襦袢と留袖の着付け	長襦袢、留袖の着付けのプロセスを理解し実践することができる。	テキストを見て復習
第10回	長襦袢と留袖の着付け 礼装・留袖の知識	長襦袢、着物を上手にたたむ事を理解し実践することができる 礼装の着物を理解し述べるができる。	テキストを見て復習
第11回	留袖③ 着物と袋帯	留袖の着付け（復習）、袋帯の知識を理解し実践することができる。	各自学習成果を保存し確認
第12回	留袖の着付け帯結び （二重太鼓を学ぶ）	二重太鼓を結び仕上りの型を理解し実践することができる。	保存した画像からテキストを比較して復習
第13回	留袖④ 着物と袋帯 （二重太鼓の構造を学ぶ）	留袖の着付けと袋帯二重太鼓を理解し実践することができる（復習）。	美しい着付けのイメージ学習をしてくる
第14回	留袖の着付けと帯結び （美しい着付けをする事を学ぶ）	留袖の着付けと袋帯二重太鼓を美しく仕上げる事を理解し実践することができる。	テキストを見て復習
第15回	留袖⑤ 着物と袋帯 （着物の格を学び、帯揚げ帯締め の結び方を学ぶ）	留袖の知識を確認し、着物の格と家紋を学び装いの違いを理解し実践することができる。	テキストを見て復習

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	格式ある席の装い ミセスの礼装	礼装にふさわしい、留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術を理解し実践することができる。	
第17回	留袖⑥ 着物と袋帯 (礼装にふさわしい二重太鼓の形を学ぶ)	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術を理解し実践することができる(復習)。	技術自主学習(所要時間は90分程度)
第18回	留袖の表情と身のこなし	着る人にふさわしい、ヤングミセスから高齢者の装いの表現を理解し実践することができる。	
第19回	留袖⑦ 着物と袋帯 (手早く美しい着付けを学ぶ)	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術を理解し実践することができる(復習)。	技術自主学習(所要時間は90分程度)
第20回	手早く着心地の良い着付け	更に技術を磨き、手早く美しい着付けを実践することができる。	
第21回	留袖⑧ 着物と袋帯 (品格のある着付けを学び、時間内に仕上げることを学ぶ)	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術を理解し実践することができる(復習)。	技術自主学習(所要時間は90分程度)
第22回	総仕上げ	ミセスの礼装を意識し、品格のある着付けを理解し実践することができる。	
第23回	留袖⑨ 着物と袋帯 (時間内に仕上げることを学ぶ)	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術を理解し実践することができる(復習)。	技術自主学習(所要時間は90分程度)
第24回	技術の確認	限られた時間に留袖と帯結びの仕上げを実践することができる。	自身の技術課題を確認して復習をする
第25回	浴衣の着付けと帯結び	浴衣の着付けと細帯一文字の技術を理解し実践することができる。	テキストを見て事前学習をする
第26回	浴衣アレンジ① 浴衣と細帯	浴衣の着付けと細帯一文字を仕上げることを理解し実践することができる。	
第27回	浴衣の着付けと帯結び (細帯のアレンジ)	浴衣の着付けと細帯のアレンジを実践することができる。	テキストを見て復習
第28回	浴衣アレンジ② 浴衣と細帯 (帯結びのアレンジを学ぶ)	更に技術を磨き、美しい浴衣の着付けと帯結びを実践することができる。	
第29回	サロン技術の実践① 体型補正 帯結び：末広太鼓	冠婚葬祭の装いを理解し実践することができる。	通過儀礼の事前学習を要する (自分と着物の関わりを記録してくる)
第30回	助手の心得	サロンワークのシチュエーションでの技術を実践することができる。	